



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月12日

上場会社名 株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ 上場取引所 東
 コード番号 6324 URL <http://www.hds.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 啓
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 丸山 顕 (TEL) 03-5471-7810
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	21,577	△37.4	1,383	△84.5	1,613	△82.7	280	△95.3
2019年3月期第2四半期	34,474	37.8	8,914	54.7	9,337	65.6	5,908	61.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △1,241百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 3,633百万円(△64.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	2.91	—
2019年3月期第2四半期	61.37	—

(注) 2019年3月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2019年3月期第2四半期連結財務諸表について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	134,694	106,155	75.1
2019年3月期	137,995	108,400	75.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 101,217百万円 2019年3月期 104,186百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2020年3月期	—	10.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,700	△45.9	△1,500	—	△1,300	—	△1,500	—	△15.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	96,315,400株	2019年3月期	96,315,400株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	52,225株	2019年3月期	52,225株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	96,263,175株	2019年3月期2Q	96,263,207株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・四半期決算補足説明資料については、第2四半期決算説明会（2019年11月19日開催予定）当日に当社WEBサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12
3. 補足情報	13
(1) 生産、受注及び販売の状況	13
(2) 海外売上高	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)における当社グループの事業環境は、半導体市場全般の投資先送りに加え、米中貿易摩擦の長期化を背景とした先行き不透明感が増し、世界的に設備投資に慎重な姿勢が強まったことから、総じて厳しい状況となりました。

用途別の売上高につきましては、前年同期比で、自動車やスマートフォン、家電などの生産自動化に使用される産業用ロボット向けが減少したことに加え、半導体製造装置向け、モーターメーカー向けギアヘッドなど主要用途全般が減少しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比37.4%減少の215億77百万円となりました。

損益面につきましては、このような厳しい事業環境を乗り越えるため、設備投資の一部凍結、固定費の削減、徹底した経費管理による一般管理費の削減に取り組んでまいりましたが、売上高の減少による影響を吸収するには至らず、営業利益は前年同期比84.5%減少の13億83百万円となりました。また、主に営業利益の減益に伴い、親会社株主に帰属する四半期純利益も前年同期比95.3%減少の2億80百万円となりました。

なお、製品群別の売上高は、減速装置が前年同期比43.7%減少の163億34百万円、メカトロニクス製品が同4.4%減少の52億42百万円で、売上高比率はそれぞれ、75.7%、24.3%となりました。

報告セグメントの業績は、以下のとおりであります。

(日本)

産業用ロボット向けをはじめ、半導体製造装置向け、モーターメーカー向けギアヘッドなどの主要用途全般が減少し、売上高は前年同期比54.4%減少の106億67百万円となりました。また、セグメント利益(経常利益)は前年同期比79.8%減少の18億31百万円となりました。

(北米)

医療機器向け、サービスロボット向けを中心に需要が増加したことにより、売上高は前年同期比12.3%増加の35億99百万円となりました。また、セグメント利益(経常利益)は、販売費及び一般管理費は増加したものの、売上高の増加による増益効果が上回り、前年同期比38.4%増加の8億31百万円となりました。

(欧州)

主に産業用ロボット向けの需要が減少したことなどから、売上高は前年同期比7.1%減少の73億11百万円となりました。また、セグメント利益(経常利益)は前年同期比93.4%減少の53百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比で33億1百万円減少（前連結会計年度末比2.4%減）し、1,346億94百万円となりました。これは、会計基準の変更に伴い海外子会社のリース資産をオンバランスした影響等により、有形固定資産が57億49百万円増加（前連結会計年度末比14.1%増）した一方で、売上高の減少により、受取手形及び売掛金が85億17百万円減少（前連結会計年度末比49.0%減）したことが主な要因です。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて10億55百万円減少（前連結会計年度末比3.6%減）し、285億39百万円となりました。これは、長期借入金が47億3百万円増加（前連結会計年度末比272.5%増）した一方で、その他流動負債が44億6百万円減少（前連結会計年度末比60.5%減）したことに加え、未払法人税等が20億93百万円減少（前連結会計年度末比86.7%減）したことが主な要因です。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末比で22億45百万円減少（前連結会計年度末比2.1%減）し、1,061億55百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が17億24百万円減少（前連結会計年度末比230.3%減）したことに加え、期末配当を実施したことにより、利益剰余金が15億48百万円減少（前連結会計年度末比2.6%減）したことが主な要因です。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の75.5%から75.1%になりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて25億90百万円増加し、201億90百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による収入は87億56百万円となりました。（前年同期は35億55百万円の収入）

これは、法人税等の支払いによる支出が29億24百万円あったものの、売上債権の減少による収入を83億92百万円、減価償却費を33億13百万円計上したことが主な要因です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による支出は96億38百万円となりました。（前年同期は84億15百万円の支出）

これは、有形固定資産の取得による支出が95億63百万円あったことが主な要因です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による収入は35億22百万円となりました。（前年同期は11億26百万円の支出）

これは、配当金の支払いが18億28百万円あったものの、長期借入れによる収入が50億円あったことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日に公表しました2020年3月期に係る連結及び個別業績予想を修正しております。当該内容につきましては、本日（2019年11月12日）公表の「2020年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,805,569	21,441,358
受取手形及び売掛金	17,384,070	8,866,296
有価証券	16,506	16,197
商品及び製品	1,856,807	1,905,883
仕掛品	2,256,097	1,772,168
原材料及び貯蔵品	3,258,082	3,226,280
その他	1,321,036	1,423,660
貸倒引当金	△12,525	△21,845
流動資産合計	44,885,646	38,630,000
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,170,045	19,197,900
機械装置及び運搬具(純額)	17,300,831	16,750,011
その他(純額)	11,382,060	10,654,114
有形固定資産合計	40,852,936	46,602,026
無形固定資産		
のれん	11,891,973	10,954,599
ソフトウェア	477,910	422,501
顧客関係資産	21,419,711	19,731,321
技術資産	5,720,891	5,269,947
その他	28,398	25,240
無形固定資産合計	39,538,885	36,403,610
投資その他の資産		
投資有価証券	536,878	569,783
関係会社株式	10,708,217	11,077,578
退職給付に係る資産	1,074,157	1,096,242
繰延税金資産	229,820	164,322
その他	174,754	156,296
貸倒引当金	△5,600	△5,600
投資その他の資産合計	12,718,227	13,058,623
固定資産合計	93,110,049	96,064,259
資産合計	137,995,696	134,694,260

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,513,122	2,655,854
短期借入金	25,544	37,116
1年内返済予定の長期借入金	352,705	450,991
リース債務	52,932	235,961
未払法人税等	2,414,836	320,888
賞与引当金	1,604,470	631,786
役員賞与引当金	518,247	61,341
製品補償損失引当金	179,233	56,547
その他	7,283,448	2,876,716
流動負債合計	15,944,541	7,327,203
固定負債		
長期借入金	1,726,001	6,429,400
リース債務	154,801	2,806,136
繰延税金負債	10,228,500	10,411,989
役員退職慰労引当金	462,345	485,953
その他の引当金	104,613	115,812
退職給付に係る負債	829,641	808,749
その他	144,280	153,865
固定負債合計	13,650,183	21,211,906
負債合計	29,594,724	28,539,110
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,100,036	7,100,036
資本剰余金	30,225,361	30,225,361
利益剰余金	60,353,848	58,805,277
自己株式	△38,280	△38,280
株主資本合計	97,640,965	96,092,394
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,800,311	6,095,481
為替換算調整勘定	748,985	△975,692
退職給付に係る調整累計額	△4,089	5,237
その他の包括利益累計額合計	6,545,208	5,125,026
新株予約権	625,511	625,511
非支配株主持分	3,589,286	4,312,216
純資産合計	108,400,971	106,155,149
負債純資産合計	137,995,696	134,694,260

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	34,474,045	21,577,424
売上原価	18,818,602	14,165,102
売上総利益	15,655,442	7,412,322
販売費及び一般管理費	6,741,123	6,028,667
営業利益	8,914,318	1,383,654
営業外収益		
受取利息	10,577	19,325
受取配当金	119,132	119,276
持分法による投資利益	4,965	—
為替差益	164,317	—
補助金収入	19,333	21,887
その他	154,580	225,270
営業外収益合計	472,907	385,760
営業外費用		
支払利息	6,985	48,014
売上割引	16,605	24,457
有価証券評価損	16,660	—
持分法による投資損失	—	22,438
為替差損	—	27,776
その他	9,106	33,526
営業外費用合計	49,357	156,214
経常利益	9,337,868	1,613,200
特別利益		
固定資産売却益	17,483	10,544
補助金収入	160,410	60,410
特別利益合計	177,893	70,954
特別損失		
固定資産売却損	62,273	517
固定資産除却損	17,224	9,734
固定資産圧縮損	160,410	60,410
特別退職金	—	14,517
特別損失合計	239,907	85,180
税金等調整前四半期純利益	9,275,854	1,598,974
法人税、住民税及び事業税	3,095,547	425,015
法人税等調整額	△219,444	574,278
法人税等合計	2,876,103	999,293
四半期純利益	6,399,751	599,680
非支配株主に帰属する四半期純利益	491,651	319,251
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,908,099	280,429

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	6,399,751	599,680
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,522,553	295,170
為替換算調整勘定	△261,515	△2,148,204
退職給付に係る調整額	17,398	11,613
その他の包括利益合計	△2,766,670	△1,841,420
四半期包括利益	3,633,080	△1,241,739
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,273,930	△1,139,752
非支配株主に係る四半期包括利益	359,149	△101,987

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,275,854	1,598,974
減価償却費	2,440,204	3,313,336
のれん償却額	344,361	322,005
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,805	9,934
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△28,576	△15,828
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	40,282	23,607
執行役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,891	11,198
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△148,728	△453,447
製品補償損失引当金の増減額(△は減少)	△21,702	△121,942
受取利息	△10,577	△19,325
受取配当金	△119,132	△119,276
支払利息	6,985	48,014
持分法による投資損益(△は益)	△4,965	22,438
補助金収入	△160,410	△60,410
固定資産売却損益(△は益)	44,789	△10,026
固定資産除却損	17,224	9,734
固定資産圧縮損	160,410	60,410
売上債権の増減額(△は増加)	△3,839,443	8,392,107
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,143,499	301,481
仕入債務の増減額(△は減少)	611,221	△787,186
その他	△667,985	△936,691
小計	6,800,010	11,589,110
利息及び配当金の受取額	129,659	138,561
補助金の受取額	160,410	60,410
利息の支払額	△6,238	△45,317
法人税等の支払額	△3,714,296	△2,986,565
法人税等の還付額	185,705	412
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,555,251	8,756,611
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,373,575	△9,563,152
有形固定資産の売却による収入	315,647	11,907
無形固定資産の取得による支出	△120,425	△21,929
定期預金の預入による支出	△232,529	△75,734
敷金及び保証金の差入による支出	△9,351	△3,239
敷金及び保証金の回収による収入	3,222	13,508
短期貸付金の回収による収入	1,128	—
その他	160	169
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,415,723	△9,638,469

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	432,684	42,432
短期借入金の返済による支出	△80,842	△30,298
長期借入れによる収入	180,176	5,000,000
長期借入金の返済による支出	△185,186	△198,315
リース債務の返済による支出	△26,539	△121,879
配当金の支払額	△1,346,486	△1,828,132
非支配株主からの払込みによる収入	—	780,978
非支配株主への配当金の支払額	△100,656	△122,405
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,126,850	3,522,379
現金及び現金同等物に係る換算差額	△168,935	△50,031
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,156,258	2,590,489
現金及び現金同等物の期首残高	28,320,807	17,600,386
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,164,549	20,190,875

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

一部の在外連結子会社においては、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号(リース)を適用しています。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を適用しております。

当該会計基準の適用の結果、当第2四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表において、有形固定資産のその他に2,825百万円、流動負債の部にリース債務182百万円、固定負債の部にリース債務2,677百万円が計上されております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益における影響額は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	北米	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,399,378	3,205,413	7,869,253	34,474,045	—	34,474,045
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,548,376	22,218	181,697	2,752,292	△2,752,292	—
計	25,947,754	3,227,632	8,050,951	37,226,338	△2,752,292	34,474,045
セグメント利益	9,077,398	600,974	812,322	10,490,695	△1,152,826	9,337,868

- (注) 1. セグメント利益の調整額 △1,152,826千円には、セグメント間取引消去△271,288千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△881,538千円が含まれております。全社費用は、基礎的試験研究費、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. 「日本」には、日本国内向けのほか、欧州、アジア地域向け等に係る売上高及び費用が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	北米	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,667,304	3,599,029	7,311,090	21,577,424	—	21,577,424
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,551,327	11,867	98,952	1,662,147	△1,662,147	—
計	12,218,631	3,610,897	7,410,043	23,239,571	△1,662,147	21,577,424
セグメント利益	1,831,609	831,567	53,683	2,716,860	△1,103,660	1,613,200

- (注) 1. セグメント利益の調整額 △1,103,660千円には、セグメント間取引消去△171,488千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△932,171千円が含まれております。全社費用は、基礎的試験研究費、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. 「日本」には、日本国内向けのほか、欧州、アジア地域向け等に係る売上高及び費用が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		生産高(千円)	前年同期比(%)
日本	減速装置	9,899,939	△58.1
	メカトロニクス製品	2,805,743	△16.5
北米	減速装置	1,618,811	15.4
	メカトロニクス製品	940,808	11.8
欧州	減速装置	4,436,792	△8.0
	メカトロニクス製品	1,476,983	7.8
合計		21,179,079	△40.2

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記金額は販売価格により表示し、消費税等は含まれておりません。
 3. 当社グループの報告セグメントは、所在地別(日本、北米、欧州)に区分しております。
 4. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。
 5. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの生産実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

② 受注実績

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
日本	減速装置	4,535,597	△67.8	1,775,512	△92.5
	メカトロニクス製品	1,275,684	△32.2	189,797	△87.0
北米	減速装置	1,348,499	△49.2	1,401,523	△54.7
	メカトロニクス製品	876,515	△40.0	601,634	△57.0
欧州	減速装置	3,598,591	△41.4	2,733,748	△40.5
	メカトロニクス製品	1,619,717	△38.6	1,350,118	△44.0
合計		13,254,604	△54.1	8,052,335	△77.9

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 当社グループの報告セグメントは、所在地別(日本、北米、欧州)に区分しております。
 4. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。
 5. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの受注実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。
 6. 受注残高は、当第2四半期連結累計期間において日本セグメントを中心に発生した前四半期以前の受注分に係る697,920千円の受注取り消し額を差し引いております。

③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		販売高（千円）	前年同期比（%）
日本	減速装置	8,951,658	△57.3
	メカトロニクス製品	1,604,825	△28.5
北米	減速装置	2,218,345	16.5
	メカトロニクス製品	1,392,552	5.2
欧州	減速装置	5,164,742	△15.8
	メカトロニクス製品	2,245,300	17.1
合 計		21,577,424	△37.4

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、北米、欧州）に区分しております。
 4. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。
 5. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの販売実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

(2) 海外売上高

当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）における海外売上高は、次のとおりであります。

	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	7,311,090	3,599,029	2,950,240	13,860,360
II 連結売上高(千円)	—	—	—	21,577,424
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	33.9	16.7	13.7	64.2

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 欧州……ドイツ
 (2) 北米……米国
 (3) その他の地域……中国、韓国、台湾、オセアニア
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。